

講演会のお知らせ

イーストアングリア大学人文学部長イヴォンヌ・タスカー教授をお迎えして、以下の講演会を開きます。どうぞおいでください。

日時: 2016年5月31日 18時10分～19時10分

場所: 文学研究科芸術研究棟 芸3教室

題目: Can Women be Superheroes?: Reflections on American Cinema and Beyond



要旨

過去十年の米国映画の大きな特徴は、スーパーヒーローを題材とするものが極めて多いことだ。大々的に広報され、世界中で大成功をおさめた2012年の *The Avengers* (2012) や2014年の *Guardians of the Galaxy* (2014)がよい例である。しかし、マーヴェルやDCコミックには女性の登場人物が多いにも関わらず、米国のスーパーヒーロー映画の中の女性はほとんどが脇役である。

女性スーパーヒーロー軽視の傾向は、2012年の Kristy Guevera-Flanagan のドキュメンタリー映画 *Wonder Women! The Untold Story of American Superheroines* (2012)において指摘されているように、西洋社会におけるジェンダー間の不平等文化というより大きな問題に深く関わっている。

この発表においては「女性はスーパーヒーローになれるのか」という問題を提起し、スーパーヒーロー映画で女性の登場場面が限られていることやアクションやアドベンチャー分野の映画、テレビ番組、出版物の中で、女性を活かす可能性が狭められている背景について探求する。

主催: 文学研究科国際連携室